

**事業所名** グループホームいやしの家備前2  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成19年10月31日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 デイサービスセンター管理者  
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士  
B:現職 理学療法士、ガイドヘルパー講師  
資格・経験 理学療法士、介護支援専門員

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>		
	<p>・『1 基本的人権の保護 2 家庭的な生活 3 生き甲斐のある生活』を理念とし、自分の家族を入居させたいと思える、そしていつでも誰もが訪問しやすい温かい家庭的な場所を目指している。</p> <p>・職員が働きやすい職場は、笑顔が多く入居者も居心地がいいと考えている。職員一人ひとり年齢差や個性も違い十人十色であるが、夫々の長所を吸収しながら信頼できる人間関係を築いていき、質の高いホーム作りを目指している。</p> <p>・地域との関わりを深め、町内の方や入居者の家族や親戚・友達などが気軽に遊びに来られる「井戸端」的な存在となり、地域との交わりによって入居者の生活の幅を広げ、人の輪を広げていけるよう取り組んでいる。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<b>入居者が暮らして生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<p>・共用空間がゆったりとした作りであるためか、ゆったりとくつろげる雰囲気がある。窓が大きく、廊下の天井に明り取りがあるのでどこにいても明るい。また、自然に職員の目が行き届くようになっている。室内は全体的にこざっぱりと片付けられており、清潔である。</p> <p>・管理者は、職員の人柄として「笑顔が大切である」と考えており、いつでも入居者に笑顔で接することが出来るように繰り返し指導している。</p> <p>・庭が広く、開放的な玄関からいつでも自由に安全に外へ出られるよう、緩やかなスロープがついている。庭の一角には、法人代表者の家族や職員が一体となって手入れをしている畑や花壇があり、季節の花や野菜が入居者を楽しませている。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・備前市伊部の中心部にあり、国道2号線や赤穂線伊部駅に程近い。周りには警察署や保育園、小学校、大型スーパーがあって便利が良い。
- ・ホームは、鉄骨平屋作りの和風建築である。広い庭の一角には手入れの行き届いた畑や花壇があり、コスモスが愛らしく咲き、艶の良い茄子がおいしそうに実をつけている。玄関ポーチを挟んで2ユニットあり、種やかなスロープが玄関へと続く。広いポーチでは、外気浴をしたり、散歩に出られない日にはレクリエーションも出来るという。玄関の壁には、備前焼の陶板で表現されたレリーフがある。
- ・法人の代表者や管理者を始め、ほとんどの職員が地元の出身者であり、職員の採用も地元の人の口コミで来てくれるという。文字通り「地域密着型」である。近所の方が絵を持って来られたり、お茶を飲みに来られたりなど、地域との関係作りは進んでいる。
- ・ホームの「より専門性の高いケアを目指した馴染みの関係作り」は徐々に功を奏してきており、経験の深い職員の定着はケアの質を高め、ひいては入居者の安心・安定した生活へと繋がっている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・地域との連携については努力を重ねてされており、関係作りを進めているところである。運営推進会議については基盤作りを万全にしてから取り掛かる方法もあるが、ひとまず進めながら調整をしていく方法もあるのではないかなと思う。
- ・入居者の加齢による機能低下は、当ホームにおいても免れないところである。医療や病氣などについて、職員全体の意識向上のための取り組みをお願いしたい。

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<p>・面会簿については、面会に来られた家族の方に夫々のファイルに名前を記入してもらっている。ファイルは事務室内に置き、他の方の目に触れないようにしている。</p> <p>・入居者の方は自分の名前によく反応されるため、職員同士の情報交換の際にはさりげなく小声で話すようにしている。排泄や手洗いの際にもそっと小声で促し、誘導されていた。</p> <p>・昼間は、ほとんどの入居者の方がリビングで他の方と一緒に過ごされることが多い。中には一人で過ごされるのが好きな方もおられ、プライベートな時間を大切に、干渉せずにとそっと見守っている。</p> <p>・入居者夫々が、食事の下ごしらえや片付け、郵便物を取りに行ったり洗濯物をたたんだりなど「出来ること」の役割を持っている。また、次の行事に使うものを手作業で作ってもらう等、達成感や満足感を味わってもらっている。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>		
	<p>・インシデントが出たら、職員全員の問題として捉え、翌日までに全員で反省点や解決方法を考え検討し、再発防止に向けて熟知するようにしている。</p> <p>・ケアの質の確保について、職員夫々の良いところを伸ばしていけるような職場作りを目指しており、技術や知識の経験豊富な職員の定着により全体のレベルアップに繋がっている。</p> <p>・法人内の他のグループホームとの情報交換や勉強会を持ち、相互に研鑽を重ねながらサービスの質の向上に努めている。</p>		